

江東区議会議員

鈴木あやこ

働く世代の
ワーク・ライフ・バランスを
応援します！

2018年
12月号
Vol.64

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会 (2018年度) 企画総務委員会委員/オリンピック・パラリンピック

特別委員会 委員/会派: 江東区議会民政クラブ/所属政党: 立憲民主党

★マニフェスト大賞 副実行委員長ほか、全国の地方議員の勉強会の事務局に携わる。

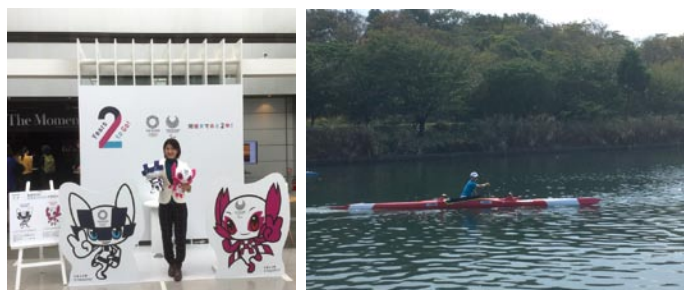
★趣味:料理・まち歩き・水辺歩き



鈴木あやこの活動報告

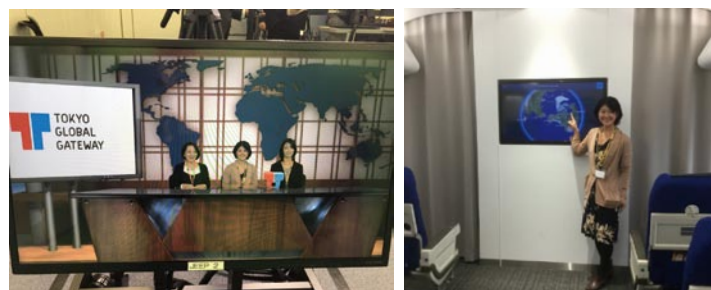
パラカヌー練習&パナソニックセンター見学(10月27日)

連合江東・墨田主催のオリンピック・パラリンピックについて学習するバスツアーに参加。地元の区議会議員として、東京2020大会のことや江東区の取り組みについてお話させていただきました。旧中川川の駅では、パラカヌーの諏訪選手と濱田選手の練習風景を見学させて頂き、みんなでエールを送りました。競技場の建設風景も見学。地域住民や企業の皆さんとともに、大会機運を盛り上げていきたいと思えます。



東京グローバルゲートウェイ(東京都英語村)視察(11月20日)

若手市議会議員の会で、青海にある東京グローバルゲートウェイ(東京都英語村)を視察。東京にいなながら海外のような空間や施設で海外生活体験を創出する施設。児童生徒8人に1人のエーエージェントがつき、レベルに合ったプログラムが体験できるのが特徴。教育機関や国際的企業とも連携しています。江東区の小中学生の皆さんにも積極的に利用して頂きたい施設。2020年東京大会に向け、国際社会で活躍できる教育の推進などに取り組んで参ります。



毎月恒例！鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、皆様とざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください！

● 第92回：平成30年12月19日（水）19:00～20:30

豊洲文化センター 第3研修室（江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター8階）



2018年
12月号
Vol.64

江東区議会 開催報告



江東区議会第3回定例会は10月23日に閉会。平成29年度の一般会計・特別会計の決算の認定のほか、夢の島競技場の改修工事の請負契約などの案件が承認されました。10月4日には山崎区長に民政クラブから予算要望も提出しました。江東区議会第4回定例会は、11月28日～12月17日までの会期で開催中です。鈴木あやこは初日の代表質問を行い、長期計画、子育て支援、湾岸エリアのまちづくり、東京2020大会について質問を行いました。質問の内容については、次回のレポートでご報告予定です。

鈴木あやこの議会質問 (平成29年第3回定例会:平成29年9月)

オリンピック・パラリンピックの成功に向けて

①テロやミサイルの対策について

大会競技会場の集中する江東区は、テロの標的になることも懸念される。最近では、北朝鮮情勢の緊迫により、北朝鮮からの弾道ミサイルの脅威も高まっている。本区においても、有事に備えて国や都と連携し、危機管理を強化すると同時に、有事発生時に備えて、想定訓練の実施などを含めた啓発が必要。現在の本区の対策、国や都との連携状況、有事発生時、避難所開設が必要になったときなどに、災害協力隊や町会自治会とどのように連携体制を取るのか伺う。

【答弁】

危機管理の強化については、江東区国民保護計画を今年の3月に見直し、テロ対策を強化したものに変更した。区民への啓発については、4月から区のホームページに変更後の国民保護計画を掲載するとともに、弾道ミサイル落下時の行動などを掲載し、随時更新しながら周知している。また、今回の総合防災訓練から、事態発生時の警報の伝達、避難誘導、ミサイル落下時の具体的な行動などを2種類のチラシにまとめ、配布を始めた。国や都、災害協力隊、町会・自治会との連携については、国民保護は、国・都の指示に基づいた対応となるため、今後、合同訓練や地域講習会の開催などを検討し、連携体制を整えていく。

【実現しました】

大規模イベント開催時におけるテロ対策を想定した「東京都・江東区国民保護訓練」が11月20日に開催され、災害協力隊として参加しました。江東区では、総合防災訓練などの防災イベントを通じた区民への啓発も積極的に取り組んでいます。



東京都・江東区国民保護訓練会場にて



■区政功労者として表彰いただきました (11月3日)

11月3日の文化の日に、江東区の区政功労者表彰式にて、自治功労者として表彰を受けました。引き続き、暮らしやすい江東区を実現していくため、地域の皆様と対話を続け、江東区政に邁進してまいります。



鈴木あやこの政策

働く世代のワーク・ライフ・バランスを応援します!

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催で中心区となり、50万都市に向けてめざましい発展を続ける江東区。子どもたちやお年寄りが安心して暮らしていくためにも、現役世代が働きながら地域社会に関わりをもてるまちづくりを目指します!

1.仕事と子育ての両立～子どもたちの未来のために～

- ①待機児童の解消 ▶ おうち保育・サテライト保育など多様な手段を活用し、待機児童を解消します。
- ②放課後支援の充実 ▶ 放課後支援を充実し、子どもたちの安心できる居場所づくりと共働き家庭の「小一」の解消につとめます。

2.高齢者施策の充実～お年寄りの元気と安心のために～

- ①高齢者を地域で見守るまちづくり ▶ 高齢者見守り支援事業を強化し、お年寄りが地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- ②元気な高齢者の活躍支援 ▶ 元気な高齢者が地域で活躍できるよう、就業支援の充実や市民活動への参加を支援します。

3.2020年東京オリンピック・パラリンピックに対応した新しいまちづくりの推進

- ①交通網の充実 ▶ 地下鉄8号線(豊洲～住吉間)の整備推進、水上交通など、交通網の充実をはかります。
- ②水辺環境を活かした観光まちづくり ▶ 江東区の内部河川・運河を活用し、世界に誇れる国際観光のまちづくりを推進します。

4.ICTを活用した区政サービスの向上～誰もが区政を身近に感じるために～

- ①ICT(情報通信技術)を活用した区民サービスの向上 ▶ 子育て、教育、医療、防災分野にインターネットなどのICTを積極的に活用し、区政を身近に便利にします。
- ②ICTを活用した区民参加のまちづくり ▶ 「区民協働レポートシステム」を導入し、ICTを活用した区民参加の仕組みをつくります。



鈴木あやこ ホームページ (PC版)

<http://www.suzukiayako.com>



鈴木あやこ ホームページ (携帯版)

<http://www.suzukiayako.myp.jp>

Facebook (鈴木 綾子)

<http://www.facebook.com/suzukiayako2011>

Twitter

twitter.com/ayako_suzuki

